

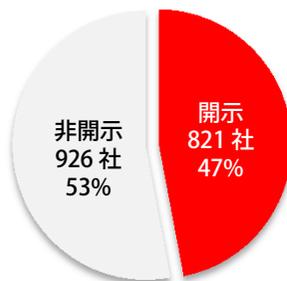
財翻リリース：2013年英文開示市場概況

景気の好転に伴い、海外の投資家は日本を重要な投資対象とし、また日本の上場企業は国内シェアの取り合いから脱却しグローバル化へと向かっています。このような市場環境で、日本企業の海外に向けた説明責任と情報開示は増大傾向にあります。本紙では、現状及び過去4年間の開示状況の推移についてご紹介します。



英文招集通知開示状況

東証1部上場企業1,747社中、英文招集通知を開示している企業は**399社(23%)**となっています。およそ**4社に1社**が英文招集通知の開示をおこなうようになりました。

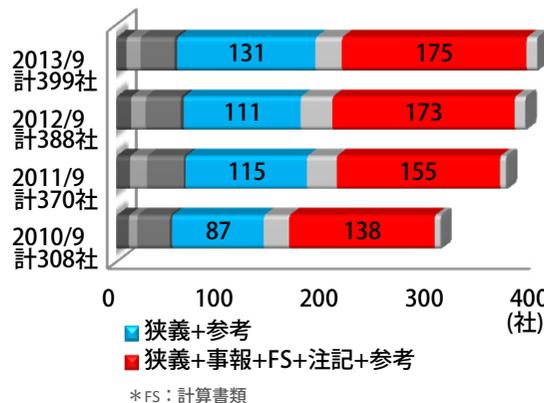
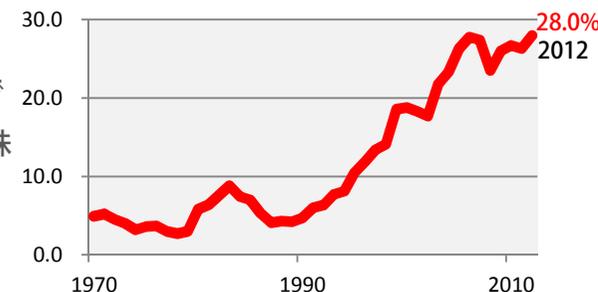


英文決算短信開示状況

東証1部上場企業1,747社中、英文決算短信を開示している企業は**821社(47%)**となっています。およそ**2社に1社**が英文決算短信の開示をおこなうようになりました。

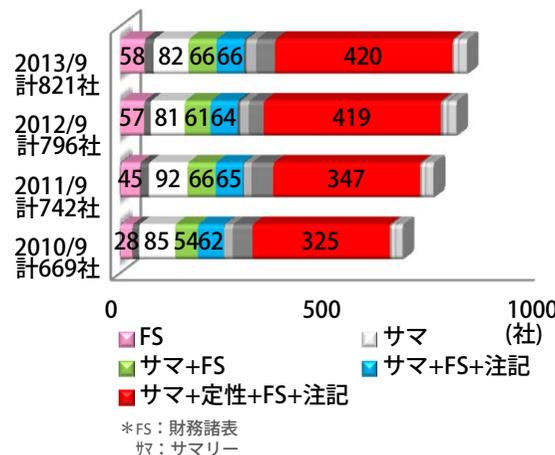
外国人株式保有比率 (東証/金額ベース)

リーマン・ショックおよび欧州債務危機で一度停滞したものの、2012年度の外国人株式保有比率は過去最高水準の**28.0%**となっております。



英文招集通知開示範囲と推移

この4年間、英文招集通知を**開示する企業は増加**しています。開示範囲は[全訳]タイプか[狭義+参考]タイプのいずれか2択の状況です。2013年は[狭義+参考]タイプが増加トレンドです。



英文決算短信開示範囲と推移

この4年間、英文決算短信を**開示する企業は増加**しています。開示範囲は[全訳]タイプが半数を占めている状況です。2013年は前年と比べ、概ね横這いまたは微増という状況です。